

夏休みボランティア体験講座

1. 活動時期2025年7月19日、7月26日、8月23日

高校1年 女子生徒

2. 活動の概要

千葉市内在住・在学の小学4年生から大学生を対象に、夏休みに福祉体験やボランティア活動を通して、社会の中で支え合うことの大切さと必要性を学習する講座です。

1日目はオリエンテーション(ボランティア活動や災害ボランティア、体験学習先の詳細説明)をして、2・3日目は体験学習で、希望する体験学習先で実際にボランティア活動をしました。オリエンテーションでボランティアセンターに登録すると、定期的にメールでボランティアのお知らせも来るので、自分に向いているボランティアを見つけることができます。

体験学習はフードバンクや夏祭りの運営などがありました。私はこども食堂に行き、子どもたちと一緒に鬼ごっこやお絵描きをして遊びました。

3. 感想

①学んだこと・得た視点

私は、「こども食堂は、食べ物が満足に食べられない子どもが来る場所だ」と思っていましたが、実際に行ってみると、学校以外で子どもたちがのびのびと過ごせる遊び場のように感じました。

最近は、お金がなくても防犯のためにスマートフォンを持たせる家庭も多く、貧困の実態が見えにくくなっていると聞き、こども食堂の持つ価値を改めて感じました。

②活動中の面白かったポイント

こども食堂に来る子どもたちは、それぞれゲームをしたり鬼ごっこをしたり、絵を描いたりと、思い思いに楽しんでいました。私は小さい子が少し苦手で緊張していましたが、鬼ごっこを通して仲良くなることができました。似顔絵を描いてくれた子もいて、とても嬉しかったです。

体験学習の2日目では、こども食堂のスタッフの方から「今後も予定の空いている日にぜひ参加してください」と声をかけていただきました。

4. 今後参加する生徒に向けたアドバイス

このボランティア体験講座は千葉市で行われているのですが、地域ボランティアは全国各地にあります。地域の人とのつながりを感じられるので、身近なところから挑戦してみてほしいです。ボランティアというと、長期間続ける人ばかりで、自分には難しいのではないかと感じるかもしれません。しかし、この体験講座ではほとんどの人が初心者で、同年代の参加者が多いため、安心して参加できます。

ボランティアは仕事ではないので、自分からできることを見つけて積極的に行動する姿勢が大切です。初心者で不安を感じている人、ボランティアに興味があるけれど何から始めればよいか分からない人、夏休み中に短期間で新しい挑戦したい人におすすめです！